

翼をくだけさい。

あらすじ



ケイ
KEI

稲村
INAMURA

父 親に性的虐待を受けていたケイは、自宅を飛び出し、学校にも行かず、売春まがいのことをしてアテのない日々を過ごしていた。

そんなある日、学校の体育教師である稲村に見つかってしまった。前々から稲村に好意を寄せていたケイは、稲村の事をケイだと見抜いており、セックスを迫る。

しかし、勃起しながらも自分の誘惑を振り切り、真摯な態度を取る稲村に、ケイはとうとう自分が性的虐待を受けている事を打ち明ける。

稲村は、とりあえず自分の家にケイを泊めて、学校にも登校させるようにする。そして、ケイの父親にケイと距離を置くよう伝えるが、父親は耳を貸さなかった。

警察には届け出を出したくないというケイの意向もあり、結局そのまま、危うい関係の二人の共同生活が始まるのだった…。

深夜三時頃

げえええ

げえええ

翼

をくたさい

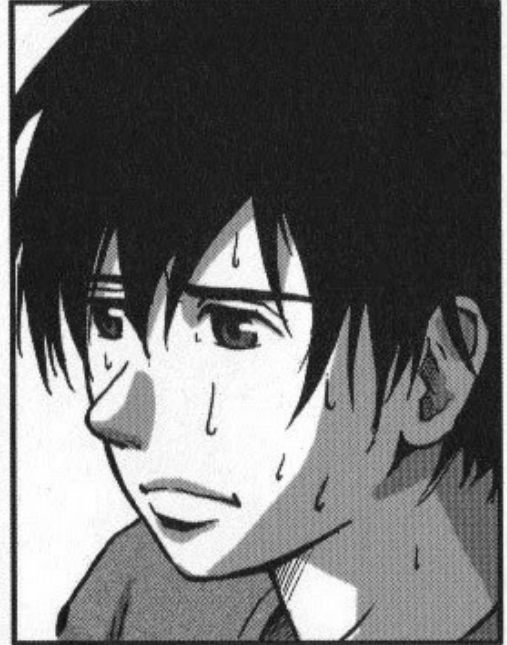
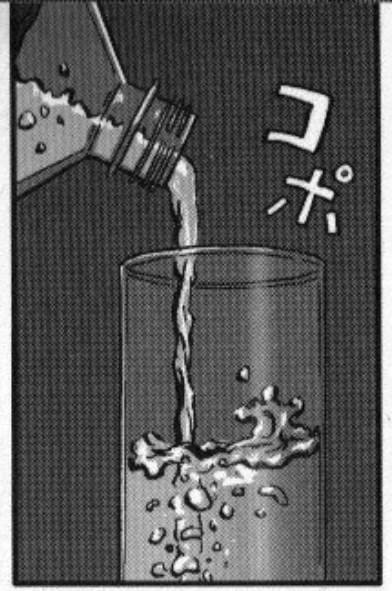
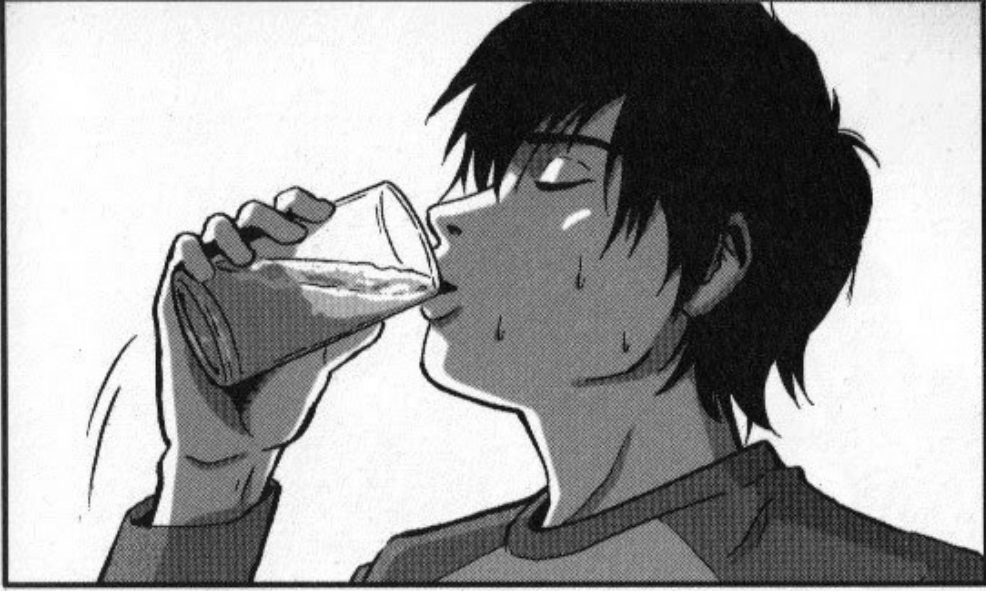
山野内海

Part.3

ハア

ハア

ハア





寝不足だなあ



まあ半分は先生のイビキのせいなんだけどさ



先生は思っていた人とだいぶ違うな……

先生は



先生と暮らし始めてしばらく経つけど……





料理も下^へ手^ただし

まあこれは
人の事言えないか



生活は絵に描いたような
スポラだし



もう少しさわやかだと
思ってた



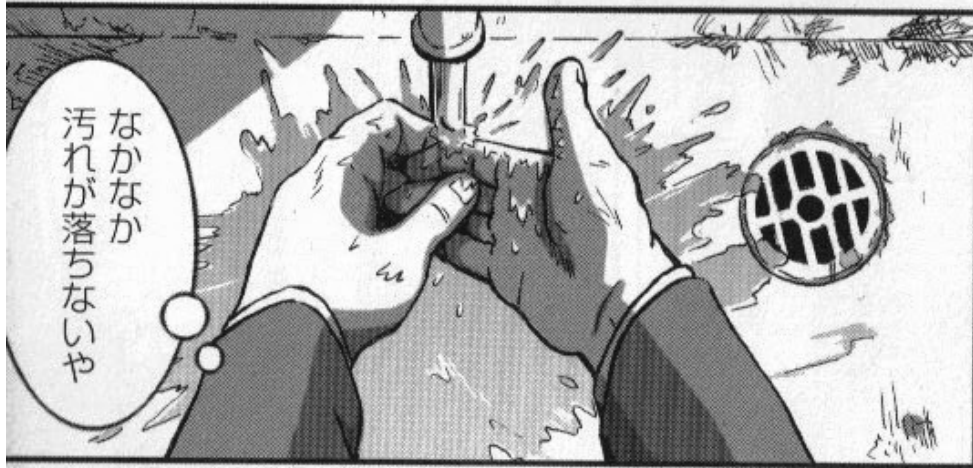
ごほ

やっぱり
人と暮らすって
疲れるなあ……



僕、ココにいても
いいのかな……





なかなか
汚れが落ちないや



ハンカチ
ハンカチ

あれ
忘れたかな



うん

ケイ
先に行ってるぞ



なあ

今日、帰りが
遅くなりそう
なんだ



!

ガッ



どうも

悪いが
夕飯、用意しといて
くれないか？





ご飯の炊き方？

教えるのはいいけど

どうしちゃったの
いきなり

たまには
自炊でも
……なんて



何だかんだ
言っても

さっき感じたんだ



僕は
先生に助けられ
てるんだよな



ふーん
先生、両方
いけるんだ

僕も先生に
何かできないかな



コンビニ弁当
から……
じゃないよな



ただいまー



なんだ
この臭い

あーつかれ……





こんな所で寝てると
風邪ひくぞ

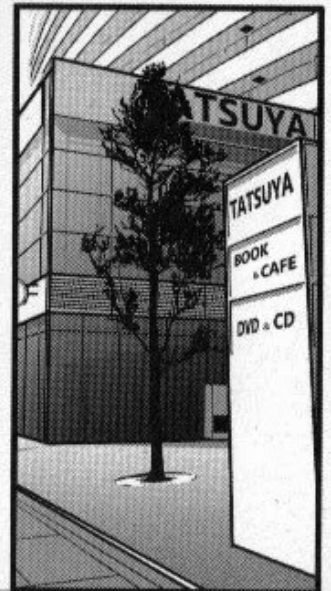


無理してやること
なかったのに

ホント
かわいい奴だな









じゃじゃーん



これでケイも
ちやんと寝れると
いいけどな



ちようど
組み立て終わった
んだ

部屋も片付けると
結構入るもんだな
二段ベッド







まあ先生と寝る所が
離れるのは、ちよつと
残念だけど(笑)



今夜からよく眠れる気がした
たぶん……

先生のイビキがうるさくても

つづく